

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

☆基本目標1 子育て・子育てを応援する制度の充実

～家庭の子育ち・子育てを応援するまちづくり～

①相談・支援体制の拡充

〔(評価の欄) 計画どおり進んでいるもの(目標値に対して進捗率が概ね95%以上を目安とした)について、「○」を表示した。〕

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	平成29年度			担当課等
				実施状況	進捗率	評価	
子育て相談・支援体制整備事業	子育て相談・情報・支援の一体的な提供、切れ目ない支援を進めるため、市役所の組織見直しに努めます。福祉、保健、医療、学校教育、生涯学習、公民館、労働・農林商工業、男女共同参画、危機管理・交通安全・建設などの各分野が、市民と協働して取り組む子育て・子育て支援をさらに進めます。また、家庭の相談、支援を切れ目なく一元的に行うため「飯田市子ども家庭応援センター」を設置します。	○子育て支援ネットワーク協議会(児童虐待防止ネットワーク)において、庁内関係部署及び外部関係機関との連携・協働を行っている。 ○発達支援事業において、一貫した包括的な支援のため、庁内関係部署及び外部関係機関との連携・協働を行っている。 ○家庭児童相談室設置 ○発達支援巡回指導機能の充実 ○(仮称)子ども家庭応援センターについては、本庁舎の建設に伴うりんご庁舎の体制整備に併せて平成28年度開設を目指して検討中	○飯田市子ども家庭応援センターの設置による、市役所庁内及び関係機関との連携・協働体制の強化、相談・支援体制の整備	○子育てに関する総合的な支援の中核施設として、飯田市子ども家庭応援センターを運営し子育て家庭が孤立せず安心して子育てができるよう、関係機関との連携強化を図った。相談後の対応は専門職や各機関へつなげるにより社会全体で応援する仕組みづくりに努めた。 ○子育て支援ネットワーク協議会は代表者・実務者・個別会議により体制強化と個別ケースの進行管理を実施した。実務者会議は種別により分類することで、進行管理が十分議論できるよう会議自体の見直しを実施した。 ○就学相談委員会の新たな取り組みとして、特別な教育的配慮が必要な子どもに対する教育環境や支援について、保護者等を対象に就学相談説明会を3回実施し飯田市の教育支援実施について周知を行った。 ○保健課乳幼児健診時に(1歳6か月、2歳、3歳)心理専門職を派遣、健診会場において心理相談を実施した。 ○保育所、認定子ども園に専門職が巡回訪問し、発達支援のコンサルタントを実施した。 ○子ども家庭応援センターに教育相談員(就学相談担当)を引き続き配置し、幼保からの連携を強化している。	—	○	健康福祉部 教育委員会 産業経済部 総務部 市立病院 建設部 市民協働環境部 などの課等
	さらに市民参加の子育ち・子育て活動を地域に広げるため、計画の実現に向けた事業を、市民・行政が協働して取り組みます。	○次世代育成支援ワーキンググループ「みんなで子育て応援サポーター会議」設置	○継続実施	○継続実施 ○みんなで子育て応援サポーター会議により、子育て応援情報誌「みんなで子育てナビ」男性向け子育て応援情報誌「いいだパパナビ」を発行し、母子健康手帳交付時に配布した。また、いいだ子育てネットホームページの更新に向けた検討会議を実施した。	—	○	子育て支援課
	また、日本語の理解が不十分な外国籍児童・保護者に対し、必要に応じて文書の翻訳や通訳者の派遣などの支援をします。	○外国籍児童共生支援員(サポーター)5人	○外国籍児童共生支援員(サポーター)5人	○外国籍児童共生支援員を5人配置し支援している。(中国語2、ポルトガル語1、タガログ語1、日本語支援1)	100%	○	学校教育課
		○外国人相談窓口を開設し、子育て等に係る相談に対応するとともに、必要に応じて乳幼児健診時や保育園入園時に通訳を派遣している。また、重要文書の翻訳も実施している。	○外国人相談窓口での対応とともに、必要に応じて通訳派遣や翻訳を実施する。	○外国人相談窓口を開設し、子育て等に係る相談に対応するとともに、必要に応じて乳幼児健診時や保育園・認定子ども園での説明など、意思疎通困難時に通訳を派遣。ながの子育て家庭優待パスポート事業の通知等、重要文書の翻訳も実施した。	—	○	男女共同参画課
【次世代育成】 結婚相談事業	結婚を希望する方が温かな家庭を築けるように支援します。	○社会福祉協議会へ結婚支援アドバイザーを設置 結婚相談登録241名、イベント34回開催 延べ548名参加(地区開催含む) カップル成立96組 結婚成立17名	○カップル成立60組 結婚成立15名	○飯田市社会福祉協議会へ結婚支援アドバイザーを設置 結婚相談登録221名、イベント開催28回 延べ436名参加(地区開催含む) ○カップル成立84組 このうち結婚成立15名	100%	○	福祉課
【次世代育成】 子育て支援ネットワーク事業	児童虐待防止、要保護児童等支援のため、要保護児童対策地域協議会に参画する、保健・福祉・医療・教育・警察など地域の子育て支援関係機関が協働して支援に取り組みます。	○飯田市子育て支援ネットワーク協議会(児童虐待防止ネットワーク)設置	○継続実施	○継続実施 ○子育て支援ネットワーク協議会の調整機関として、相談内容に沿った対応により迅速に支援体制を整え、児童虐待の防止及び抑止につなげることに努めた。 ○新規相談受付件数607件、虐待受付件数42件(再掲)	—	○	子育て支援課

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)		目標値 (平成31年度)		平成29年度			担当課等		
		実施状況		進捗率	評価						
【次世代育成】 幼保小連携事業	集団生活になじめない子どもや不登校児童対策として幼保小が連携して、早い段階から子どもの状況把握や予防対応などに取り組みます。 発達が気になる子どもに対し、保育園・幼稚園から小学校へと途切れのない支援がされることを目指します。	○学区を中心にした連絡会の開催、情報交換 ○幼保小の連携に関わる実践研究を3園5校で実施		○継続実施		○継続実施 ○校長会主導委員会「幼保小連携推進委員会」の開催により、共通認識により途切れのない発達支援についての検討会を実施			—	○	学校教育課 子育て支援課
事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	区分	29年度	31年度 (見込み)	実施状況			進捗率	評価	担当課等
【子ども・子育て】 利用者支援事業	「飯田市子ども家庭応援センター」では、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施します。	—	量的指標	1カ所	1カ所	○子育て等に関する総合窓口として飯田市子ども家庭応援センターを運営した。子育て支援事業等の情報提供及び相談等を行うとともに、各関係機関との連携を図りニーズに沿った支援に努めた。 ○H29年度の児童養育相談及び子育て・発達・教育相談の対応総数は1,136件(新規607件、継続529件) ○親子が寄り集まれる場として、子育て広場「ゆいきつ広場」を開設し相談ニーズの早期対応及び専門職による相談体制を併存させることで、多様な相談ニーズに対応可能な体制を整えた。			100%	○	子育て支援課

②在宅育児応援サービスの継続

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)		目標値 (平成31年度)		平成29年度			担当課等		
		実施状況		進捗率	評価						
【次世代育成】 ファミリーサポートセンター事業	ファミリーサポートセンターの利用料金については、利用しやすい単価の設定や利用料金の負担軽減策を検討し、利便性を高めます。また、協力会員の資質向上に努めます。	○ファミリーサポートセンター会員数634人活動件数1,731件(高齢者・障害者生活支援分を除く) ○負担軽減策については、継続的に検討している。		○低所得世帯に対する負担軽減の検討		○飯田市ファミリー・サポート・センターの会員数676人(依頼会員363人、協力会員265人、依頼協力会員48人)活動件数1,187件 ○ファミリー・サポート事業を利用する、ひとり親家庭を対象に、利用料の半額(上限、月額1万円)を補助する制度を開始し、利用者の負担軽減策につなげた。			—	○	子育て支援課
事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	区分	29年度	31年度 (見込み)	実施状況			進捗率	評価	担当課等
以下3事業の量的指標(合計)					2,391人年						
【子ども・子育て】 ファミリーサポートセンター事業	協力会員の拡大、市民の認知を広げるなど充実を図り、市民同士がお互いに助け合う「地域の子育て力」を高めます。	1,731人	量的指標	1187人	1,635人	○仕事と家庭の両立支援を目的として、安心して働くことのできる環境づくりのために、依頼・協力会員相互の援助活動が行われ子育てを地域で助け合う一助になっている。各会員の増加に向けポスターやチラシを制作した。チラシは保育所等を通じ保護者へ配布を行い周知に努めた。			—	○	
【子ども・子育て】 一時預かり事業 (在園児除く)	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、保育所や認定こども園で一時的に預かり、必要な保護を行います。	773人	量的指標	739人	755人	○公立保育園全園、私立保育園16園、認定こども園6園において、園に在籍していない又は通っていない乳幼児を対象として、一時的に家庭での保育が困難となった場合に児童を一時的に預かり、必要な保護を行った。年々園児の数が減少する中、目標値に対する一定の成果があった。			97.9%	○	子育て支援課
【子ども・子育て】 子育て短期支援事業	仕事等の理由により、夜間に保護者がいない場合、児童養護施設等で児童の養護・保護を行います。	0人	量的指標	2人	1人	○市内の乳児院及び児童養護施設において継続実施。 ○仕事の都合により夜間保護者がいないため利用した。 延べ日数1日 2名			—	○	
【子ども・子育て】 養育支援家庭訪問事業	子育てに不安を感じている家庭、養育が困難な家庭に対し、面接相談・訪問援助・子どもの発達指導などを実施して、子育てが安定してできるよう支援します。これにより、家庭の育児不安を緩和し、育児の行き詰まり防止に取り組みます。	104人	量的指標	289人	140人	○子ども家庭応援センター及び子育て支援ネットワーク協議会の連携により、養育が困難な家庭に対し、面接相談・訪問援助・子どもの発達指導などを実施して、安定した子育てができるよう支援した。また相談内容に沿った対応を心掛けることで不安や孤立化の防止に努めた。 ○養育支援に関する専門相談は保健師、臨床心理士、家庭児童相談員(教員OB)。 ○養育家事援助スタッフは保育士、子育てOB等が養育支援家庭訪問登録員研修を受講し登録員として活動した。(訪問登録員50人)			—	○	子育て支援課

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	区分	29年度	31年度 (見込み)	実施状況	進捗率	評価	担当課等

③子育ての経済的負担の軽減

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	平成29年度			担当課等
				実施状況	進捗率	評価	
【次世代育成】 保育園・認定子ども園の保育料軽減事業	子育て世代の負担軽減のため、保育所等保育料の軽減を継続して行います。	○保育料軽減率34.26% (保育料基準額の引き下げと多子軽減の拡充) ○幼稚園授業料に対し、保育所保育料とほぼ同額になるよう補助を継続	○保育料軽減率 約30%	○平成29年度保育料軽減率:33.06% ○昨年度までの2・3号認定に対する階層拡大及び多子世帯軽減に加え、平成29年度より1号認定に対する国基準5階層から市基準9階層への階層拡大を開始した。 ○平成28年度末をもって県幼稚園が県保育園と統合・民営化し、県あり保育園となったため、幼稚園授業料への補助を終了した。	110%	○	子育て支援課
【次世代育成】 児童手当支給事業	子育て世代の負担軽減として児童手当を支給します。	○児童手当支給延べ数:165,404人 児童手当支給金額:1,851,020千円	○継続実施	○児童手当支給延べ数 154,106人 児童手当支給金額 1,721,095千円	—	○	子育て支援課
【次世代育成】 就学援助事業	経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品・学校給食費等の一部を援助します。	○対象者843人/年	○継続実施	○対象者923人/年	—	○	学校教育課
【次世代育成】 奨学金貸与事業	経済的理由により進学が困難な若者に奨学金を貸与して、教育の機会均等を確保します。また、当地域へのUターンを促進するため、償還期間となった者が飯田市に就職等により居住した場合には、償還金の一部を免除します。	○奨学金貸与者60人	○継続実施	○奨学金貸与者58人	—	○	学校教育課

④地域子育て支援拠点の充実

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	区分	29年度	31年度 (見込み)	平成29年度			担当課等
						実施状況	進捗率	評価	
【子ども・子育て】 地域子育て支援拠点事業	公共施設の空きスペースなどのほか、市民から提供していただく建物等を有効利用し、子育てアドバイザーが常駐して家庭・地域での子育て・親育ちを支援します。人の子育てを見聞きし、相互に助け合いながら協働して子育ての中で「社会からの孤立感」を解消し「家庭・地域での育児の喜び」を実感できる環境をつくります。家庭での子育てを密室型から地域子育て型に転換し、子育ての行き詰まりの防止につなげます。落ち着けない子どもなどの生活習慣の確立や、人と交わることによる子どもの育ちを支援するための場も提供します。	34,215人回	量的指標	41,923	45,190人	○子育て地域拠点として常設型10カ所、出張型2カ所において施設運営することができ目標は達成している。また、各施設において様々な工夫がされて運営されており、地域学生や高齢者など多様な世代との交流や取り組みなどが行われた。 ○子育てアドバイザーによる情報交換会を月1回定例開催した。講師を招聘しての研修会の開催や自らテーマ設定を行い自主研修も実施することでスキルアップに努めた。 ○地域子育て支援拠点事業 (1)週5日型 5カ所 座光寺、わいわいひろば、親子であそぼ♪森っこ、ゆるり飯沼おしゃべりサラダ (2)週3～4日型 5カ所 くまさんのおうち、なかよし広場ぞうさん、ひだまりサロン、アイキッズスクエアいくら、KanKanリトルジャイアント	—	○	子育て支援課
				常設型10出張型2	常設型10出張型1		109%	○	

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	平成29年度			担当課等
				実施状況	進捗率	評価	
【次世代育成】 地域子育て支援拠点事業	つどいの広場の開所日を増やすことについて、検討します。	○休日開所日の増、開所時間の見直しについて、検討している	○休日開所日の増	休日開所日を1カ所、休日特別開館4カ所を設置。開所日数121日	—	○	子育て支援課
【次世代育成】  乳幼児学級及び乳幼児教育支援事業	保護者の子育て学習の場として、乳幼児学級をすべての地区で実施します。乳幼児をもつ保護者や、転入したばかりの家庭などが「孤独な子育て」に陥らないよう、保健師の家庭訪問や公民館広報などで周知を行い、乳幼児学級の機会を通じて、地元の子育て家庭同士の交流を深めます。	○全20地区で実施 地区の実態に合わせて対象や内容を決め実施している。	○20地区で継続実施	○乳幼児学級を20地区で実施。 実施回数590回、登録親子1,297組、のべ参加者数10,326人 ○乳幼児教育支援事業 590回 9,714人(20地区公民館)	100%	○	保健課 公民館
	すべての地区で0歳児の親子の参加促進を図り、「基本的な育児学習」や「地域の子育て支援サービスを知る」と同時に「相談できる専門スタッフが地元にいる安心感」「育児の楽しさ」を実感できる場としていきます。	○すべての地区で0歳児を対象とした学級を実施している。 ○出生数が減少していることから、回数・参加数は減少傾向である。	○20地区で継続実施	○0歳児の親子を対象とした学級を20地区で実施	100%	○	
	保健師、公民館、幼稚園・保育所等が連携をとり、それぞれの地区の実情に合わせた学級内容を展開します。また、子育てサークルやネットワークの活動に対する支援を行います。	○乳幼児学級等公民館での講座を実施 参加延数20地区計17,573人	○継続実施	○乳幼児学級を20地区で実施。保健課、公民館、保育所、主任児童委員、まちづくり委員会などの関係団体と連携して実施	100%	○	

⑤教育・保育事業の充実（別表⑤教育・保育の充実）

事業名	事業内容	平成29年度			
		実施状況	進捗率	評価	担当課等
【子ども・子育て】  教育・保育事業	幼児期における質の高い学校教育・保育の総合的な提供や保育の量的確保を行います。これらの需要と、地域・施設とのバランスを踏まえる中で検討を行います。	○1号認定(3歳以上教育ニーズ)の児童については、希望する認定こども園に入所できている。 ○2号認定(3歳以上保育ニーズ)の児童については、希望する住所地の保育所等に入所できている。 ○3号認定(3歳未満保育ニーズ)の児童については入所できている。ただし、第1希望の施設に入所できない場合がある。	100%	○	子育て支援課
【子ども・子育て】  家庭的保育等事業 (地域型保育事業)	幼児期における質の高い学校教育・保育の総合的な提供や保育の量的確保のため、需要と、地域・施設とのバランスを踏まえる中で未満児を対象とする保育の拡大について検討します。 ①家庭的保育 5人以下の少人数で保育を行う事業 ②小規模保育 6人～19人までの保育を行う事業 ③事業所内保育 事業所内の施設で、従業員や地域の子どもと一緒に保育する事業 ④居宅訪問型保育 個別ケアが必要な場合など、保護者の自宅へ訪問しマンツーマンで保育する事業	○未満児保育のない地区において家庭的保育事業の学習会を提案し、地区内での検討会に参加している。 ○平成29年10月に事業所内保育施設「保育室コッコロ」を認可した。定員10名(従業員枠7名、地域枠3名)で運営を行っている。	—	○	子育て支援課

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

☆基本目標2 子どもの発達と親子の健康の確保及び増進

～子どもの発達と親子の健康を支えるまちづくり～

①一貫した発達支援体制の整備

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	平成29年度			
				実施状況	進捗率	評価	担当課等
途切れない発達支援体制整備事業	発達に何らかの心配があり、配慮が必要な子どもに対し、乳幼児期から18歳まで、一人ひとりの特性に合わせた途切れない発達支援を行うため、保健・医療・福祉・教育各分野による協働体制をより充実させていきます。	○平成22年度より継続して地域健康ケア計画を推進。 ○保育所・幼稚園において「個別の指導計画作成」を81件実施 ○(仮称)子ども家庭応援センターの設置に向けた準備	○飯田市子ども家庭応援センターの設置により、地域の関係機関や庁内関係部課との協働体制をさらに充実させ、より一貫した発達支援を目指す	○子育てに関する総合的な支援の中核施設として、飯田市子ども家庭応援センターを本年運営した。関係諸機関との連携のもと、適切な社会資源へとつながるよう子ども子育ての相談対応に努めた。 ○庁内関係部局と市立病院等から構成した、飯田市発達支援体制整備協議会を発足し、支援ニーズに対して適切かつ効率的に対応するための協議検討を実施。現況と課題の把握に努めた。(年4回開催) ○個別の指導計画を作成し、幼保小間との連携と取組を行い発達課題に対する早期支援につなげた。 ○子ども家庭応援センターに教育相談員(就学相談担当)を配置することで、幼少期から気になる子の情報を収集し、就学相談対応を実施することで円滑に学校生活に入れるよう努めた。 ○地域リハビリ担当による発達障害児支援の実施 保育士及び園児対象とした未満児保育支援 36回実施 保護者の心配事等への相談支援 随時対応	—	○	子育て支援課 保健課 学校教育課 福祉課 市立病院
		○乳幼児健診・あそびの広場は、内容・体制を整え、継続実施	○乳幼児健診、あそびの広場事業の実施	○乳幼児健診130回 乳幼児相談139回 あそびの広場12回実施	—	○	保健課
		○児童福祉法 ・福祉型児童発達支援利用児童 52人 ・放課後等デイサービス利用児童 155人 ・計画相談利用児童 184人 ・サービス事業所(児童発達支援6事業所、放課後等デイサービス12事業所、計画相談8事業所)	○サービスを利用する障害児の割合 70%	○児童福祉法 ・福祉型児童発達支援利用児童 32人 ・放課後等デイサービス利用児童 209人 ・計画相談利用児童 241人 ・サービス事業所(児童発達支援 2事業所、放課後等デイサービス 14事業所、計画相談 10事業所) ○サービス給付を受けている障がい児数/全障がい児数88%	88%	○	福祉課
安心して出産できる体制づくり事業	引き続き産科問題懇談会を中心に安心して出産できる体制づくりに努力していきます。	○分娩は市立病院を含め2施設で、妊婦健診は地域内の産婦人科診療所も行うなど、連携協力して安心して出産できる環境を維持。 ○市立病院に産科病棟・分娩部・NICU(新生児特定集中治療室)など、新たな周産期センターを整備し運用を開始。	○継続して安心して子どもが産める体制を整える。	○分娩は、平成28年7月の産科医療機関の休診に伴い、里帰り出産を含め市立病院ですべてを受け入れている。妊婦健診は、地域内の産婦人科診療所でも対応することができ、連携協力して安心して出産できる環境を維持している。	—	○	市立病院 保健課
		産前産後ケアとしての助産師による相談体制の検討	—	○産後ケアの体制づくりの研究	○平成28.7月～授乳・育児相談助成事業を開始し、産後の乳房ケア・授乳・育児・心身の健康について助産師へ相談しやすい環境を整えた。(医療機関2か所・助産院5か所) 平成29年度利用件数 702件	—	○

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)		平成29年度				
			実施状況		進捗率	評価	担当課等		
【次世代育成】 新生児～2か月児訪問及び乳幼児健診等事業	生後2か月頃を目安に、全乳児を対象に保健師が訪問指導を実施、乳児の発育状況を把握し母親の育児不安の軽減をします。乳幼児の健やかな発育・発達の確認と、疾病、発達の遅れ・偏りなどの早期発見とその相談のため、各種の乳幼児健診等について、健診スタッフ、内容を充実させ、相談しやすい環境づくりをすることで一層高い受診率を目指します。また、健診の未受診者に対しては、必ず保健師の個別訪問や電話相談などにより、すべての乳幼児の健康管理を行います。さらに、健診日以外でも、普段から地区保健師に気軽に相談できるような信頼関係づくりに努めます。	○生後2か月児全戸訪問を実施 対象者873人中862人訪問 実施率98.7%	○生後2か月児全戸訪問の実施 目標実施率100% ○乳幼児健診の実施 目標受診率95% 未受診者の把握		○生後2か月児全戸訪問の実施 対象799人中789人 訪問実施率98.7%	98%	○	保健課	
					○乳幼児健診の実施 乳幼児健診受診率 96.1% 未受診者の全数把握の実施	101%	○		
事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	区分	29年度	31年度 (見込み)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【子ども・子育て】 新生児～2か月児訪問事業 (乳児家庭全戸訪問事業)	同上		量的指標	789	825人	○生後2か月児全戸訪問の実施 対象799人中789人訪問 ・実施体制 :各地区担当保健師による訪問を実施 ・実施機関:飯田市保健課 ・実施時期 :4/1～3/31	—	○	保健課
事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況		進捗率	評価	担当課等	
【次世代育成】 就学相談・支援事業	障がいのある児童生徒の将来を見通し、その子の教育的ニーズに応じた計画的かつ適切な指導、必要な支援を行うことなど特別支援教育の質的向上を図ります。	○就学相談委員 19人	○飯田市子ども家庭応援センターに移行し、継続実施	○飯田市子ども家庭応援センターにおいて継続実施。 飯田市教育委員会の諮問を受け、就学相談委員会を運営。 ○就学相談委員 19人 ○就学相談件数 147件 ○判断数 来乳児 67人、在学児 80人		—	○	学校教育課 子育て支援課	
	①「就学相談委員会」	○就学相談件数 240件 ○判断数 来乳児68人 在学児 172人	○飯田市子ども家庭応援センターに移行し、継続実施						
	②「特別支援教育支援員の配置および研修会」	○小中学校特別支援教育支援員数 42人	○小中学校特別支援教育支援員数 42人	○小中学校特別支援教育支援員数 42人 ○特別支援教育支援員を対象にした研修会を開催		100%	○		
	③「特別支援教育コーディネーター連絡会議」	○コーディネーター 28人 ○会議3回/年	○コーディネーター 28人 ○会議3回/年	○下伊那校長会が主催。保小中高が連携して取り組む ○コーディネーター 28人 ○会議3回/年		100%	○		
事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	区分	29年度	31年度 (見込み)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【子ども・子育て】 妊婦健診事業	受診券方式により、厚生労働大臣の定める基準に従って、妊婦健康診査の受診を推進します。	○延べ受診者数 10,930人	量的指標	9,720人	10,672人回	○継続実施 実施場所：県内相互乗入契約医療機関、県外個別契約医療機関、(契約外医療機関は償還払) 検査項目(補助内容)：一般14枚、超音波4枚、追加検査5枚に記載する検査項目 実施時期：4/1～3/31	100%	○	保健課

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【次世代育成】 母子健康手帳交付	妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進のため、妊娠前から乳幼児期の健康に関する情報を管理する母子健康手帳を交付します。また、妊娠届の週教や妊娠・出産に関する不安や悩みを把握し、相談支援を行うとともに、妊婦健診やパパママ教室の受	○現在母子健康手帳の交付は市民課、自治振興センター窓口で行っており、保健師が対応して交付してい	○母子健康手帳交付場所及び交付時の支援について検討	○平成29年4月からは自治振興センターでの交付についても予約制に変更したことで概ね100%が保健師により交付となった。 子育て応援アンケートを実施したことで、より細かな妊婦さんの不安や悩みを聞き取り、支援ニーズに繋げるよう取り組んだ。	—	○	保健課

②食育活動の推進

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【次世代育成】    食育活動推進事業	第2次飯田市食育推進計画に基づき、家族と共に(みんなで)食事を「共食」を推進していきます。地元食材の利用や郷土料理などを取り入れた親子料理教室の開催、学校や幼稚園・保育所等における食農体験や給食を通しての食育、幼児を対象として五感を働かせ体験しながら食の大切さを学ぶ活動を積極的に推進します。また、咀嚼機能の発達や味覚形成の重要な時期である乳児期における離乳食講座を充実します。	○共食の割合 朝食 60.2% 夕食63.7% ○食育推進大会 ○キッズキッチン開催(3園4回) ○食育協力店の認定(H25年度末17店舗) ○ホームページ更新 ○3歳児学級にてミニキャラットの種配布 ○親子料理教室の開催	○共食の増加 朝食 65%、 夕食 75% ○親子料理教室 年2回 ○キッズキッチン開催 4園4回	○共食の割合 朝食58.6%、夕食61.5% ○食育推進大会 開催 ○キッズキッチン開催 4園4回 ○城産域消の食育店 新規認定1店舗(平成29年度末20店舗) ○ホームページ随時更新 ○親子料理教室 開催 2回	朝食 90%  夕食 82%	—	保健課
		○学校給食の地元農産物利用率52.2%(学校教育課) ○公立保育所・幼稚園の地元農産物利用率 過去4年間の平均56.6%(子育て支援課)	○保育所、小中学校における食農体験の推進(農業課) ○学校給食の地元農産物利用率35%(学校教育課) ○公立保育所・幼稚園の地元農産物利用率60%(子育て支援課)	○保育所、小中学校における食農体験の推進は継続実施 ○地域の農家と連携して、保育所(3園)、小学校(4校)における食農体験を支援した。 ○学校給食の地元農産物利用率(主要野菜10品目)45.4% ○公立保育園において地元農産物利用率は43%。天候不順のため野菜の生育が悪く地元産が手に入りにくかった。各園で食農体験を実施することで食の大切さを学ぶことができた。	129% (学校)  71% (保育園)	○	農業課 子育て支援課 学校教育課
		○わが家の結びタイム ポスターコンクール実施 応募数81点 三行詩コンクール実施 応募数2,468点 PTA結びタイム担当者研修会開催 2回	○継続実施	○わが家の結びタイム継続実施 ポスターコンクール実施 応募数125点 三行詩コンクール実施 応募数2,732点 PTA結びタイム担当者研修会開催 1回	—	○	生涯学習・スポーツ課
		○離乳食講座 前期実施回数12回、参加組数 200組 後期実施回数10回、参加組数 152組	○参加組数 前期240組 後期160組	○離乳食講座 前期:12回、160組参加 後期:10回、109組参加	67%	—	保健課

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

③子ども医療費助成の拡充

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【次世代育成】 子ども医療費給付事業	子どもたち誰もが安心して医療が受けられるよう、医療機関に支払った自己負担額を助成します。	○受給対象児童: 中学3年生まで	○受給対象児童: 高校3年生まで	平成28年度(平成28年4月1日)より、受給対象者を高3年齢(18歳の年度末)までに拡大を行った。全対象者への申請書発送、申請の受付、受給者証の発送を実施。未提出者への再勧奨を行い、平成30年3月末時点で対象者中99.97%の受付および受給者証発送が完了した。	99%	○	保健課
【次世代育成】 妊婦健診費助成事業	母体の健康確保と胎児期からの子育て支援のため、妊婦健診費を助成します。	○受診券基本健診14枚 追加検査5枚 超音波検査4枚 交付 利用者数 1,402人	○継続実施	○継続して実施した。 利用者数 1,271人	100%	○	保健課
【次世代育成】 不妊治療費助成事業	不妊治療に掛かる高額な治療費の一部助成を行い、不妊に悩む夫婦を支援します。制度については、市民への周知を図ります。	○助成件数 98件/年	○継続実施 ○対象者の検討	○継続して実施した。 助成件数 92件/年 ○制度について周知を図った。 ○市内で唯一特定不妊治療を行っていた産科医療機関がH28.7月中旬から休診となり、H29.1月～不妊・不育に関する専門相談日を開設し、相談、情報提供を行った。 平成29年度開設日数 21日	—	○	保健課

④子育ての学び合いの推進

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
パパママ教室事業	妊婦の不安を軽減し安心して出産育児を迎えられるように、パパママ教室を開催します。また、妊婦とその家族が協力して子育てを行えるよう夫の参加を促進します。 特にパパママ教室は、広報活動により対象者への周知を図るとともに、受講しやすい時間での開催や、魅力ある内容づくりに配慮します。また、夫をはじめ家族の協力により支え合う子育てを実現するため、家族の健康教育に取り組みます。	○パパママ教室 17回、参加延人数212人(妊婦154人、夫58人)	○パパママ教室への、夫の参加者拡大	○パパママ教室の実施 夫が教室に参加できるよう毎月1回(年12回)日曜日に開催実施した。参加延数340人(参加実人員妊婦122人 夫110人)	—	○	保健課
【次世代育成】 乳幼児学級及び乳幼児教育支援事業	基本目標1に記載	基本目標1に記載		基本目標1に記載			保健課 公民館
【次世代育成】 乳幼児ふれあい体験事業	乳幼児健診の際には地元高校生と乳児とのふれあい体験を実施し、母子保健学習や、子どもと関わる喜びなどを体験する機会をつくります。また、小中学生のうちから、小さな子どもとの接し方を自然な形で学べる機会を拡大していけるよう、関係機関をつなぐ支援をします。	○高校3校、中学1校 参加生徒数65人	○乳幼児ふれあい体験 全高校で実施	○高等学校5校(飯田、飯田風越、OIDE長姫、下農、飯田女子)で乳幼児ふれあい体験を14回実施した。 参加生徒数141人 ○全ての中学校(9校)において、乳幼児ふれあい体験として、生徒が乳幼児に触れる機会を計24回開催する。	—	○	保健課 学校教育課
	自分の成長や家族・家庭、幼児の発達と生活について関心と理解を深め、家庭生活をよりよくしようとする態度や自分の役割を果たそうとする意欲を育みます。 学童期から「家庭生活は夫婦が協力して行う」という自覚を育て、この地域で家庭を持つ希望を育みます。	○学校においては、キャリア教育や家庭科等の学習活動の中で取り組まれている。	○各校で実施		—	○	生涯学習・スポーツ課 学校教育課



平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【次世代育成】 地域子育て支援拠点事業	落ち着けない子どもなどの生活習慣の確立や、人と交わることによる子どもの育ちを支援するための場も提供します。			基本項目1に記載			子育て支援課
【次世代育成】 食育活動推進事業	地元食材の利用や郷土料理などを取り入れた親子料理教室の開催、学校や幼稚園・保育所等における食農体験や給食を通しての食育、幼児を対象として五感を働かせ体験しながら食の大切さを学ぶ活動を積極的に推進します。また、咀嚼機能の発達や味覚形成の重要な時期である乳児期における離乳食講座を充実します。	○学校給食の地元農産物利用率52.2%(学校教育課) ○公立保育所・幼稚園の地元農産物利用率 過去4年間の平均56.6%(子育て支援課)	○保育所、小中学校における食農体験の推進(農業課) ○学校給食の地元農産物利用率35%(学校教育課) ○公立保育所・幼稚園の地元農産物利用率60%(子育て支援課)	○保育所、小中学校における食農体験の推進は継続実施 ○地域の農家と連携して、保育所(3園)、小学校(4校)における食農体験を支援 ○学校給食の地元農産物利用率(主要野菜10品目)45.4% ○公立保育園において地元農産物利用率は43%。天候不順のため野菜の生育が悪く地元産が手に入りにくかった。各園で食農体験を実施し食の大切さを学んだ。	129% (学校)  71% (保育園)	○	保健課 農業課 子育て支援課 学校教育課 生涯学習・スポーツ課
【次世代育成】 地育力向上連携システム推進事業	基本目標3に記載			基本目標3に記載			生涯学習・スポーツ課 公民館 学校教育課
【次世代育成】 家庭教育支援事業及び家庭教育啓発推進事業	基本目標5に記載			基本目標5に記載			生涯学習・スポーツ課 公民館

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

☆基本目標3 子どもが健やかに成長するための環境整備

～子どもの育ちを支える教育・健全育成のまちづくり～

①放課後子どもプラン推進事業の拡充

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【次世代育成】 放課後子どもプラン推進事業 (放課後子ども教室設置運営事業)	また「地域で子どもが健やかに育つ」ことを願い、その実現のため、学校開放の取り組みや学校施設等の有効利用と合わせて、地域と行政が協働して「放課後子ども教室設置運営事業」を拡充します。放課後子ども教室の運営に関しては、地域の人たちがお互いに協力し合う中で、自分の持っている知識や技術を子どもたちに伝えることにより、地域で子どもたちを育む活動への参加を促進します。そのため、地域でのコーディネーターや支援者を養成します。	○丸山、竜丘、下久堅、追手町、座光寺の5カ所で実施。	○6カ所の開設	○丸山、竜丘、下久堅、追手町、座光寺の5カ所で実施。 ○児童クラブ定員と登録児童数 定員930名、登録児童914名 ○放課後児童クラブ等の開所時間を18:30までとし30分延長した。(上郷地区を除く)	83%	—	学校教育課 公民館

②子どもたちの居場所づくりの推進

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【次世代育成】 子どもたちが自らしようとする活動、居場所づくり事業	学習・体験・遊びの場など、子どもたちの地域の居場所について意見を聞き、子どもたちが自ら企画・運営できる活動や居場所づくりを実現できるよう応援します。	○モデル事業「冒険遊び場」の実施	○公民館など地域の拠点における子どもの居場所づくりの検討	○子どもや親子を対象とした夏休み自然体験や寺子屋など、地域における子どもの居場所づくりとなる取組を実施した。	—	○	学校教育課 生涯学習・スポーツ課 公民館 子育て支援課
【次世代育成】 乳幼児ふれあい体験事業				【基本目標2に記載】			保健課 学校教育課

③地育力による子育ての応援の推進

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【次世代育成】 地育力向上連携システム推進事業	『地育力』とは「飯田の資源を活かして、飯田の価値と独自性に自信と誇りを持つ人を育む力」のことです。地域の子どもたちを健やかに育むため、地域ぐるみで連携して子育てを支援していきます。 ① 体験活動	○校長会での説明や直接学校への働きかけを実施。H26三穂小で実施。 ○体験活動実施校 小学校5校 131人 中学校1校 87人 高等学校1校 40人 募集型農業宿泊体験 9人	○農業宿泊体験実施校 11校	○体験活動実施校 小学校7校 172人 中学校1校 79人 募集型農業宿泊体験 16人	73%	—	生涯学習・スポーツ課 公民館 学校教育課
	飯田の自然・歴史・文化などを活かし、感動をもたらすようなほんものの体験を通じて「生きる力」や「社会をつくり、運営し、より良く作り変えていく資質や能力」を高めます。 ② キャリア教育	○指導計画策定済みキャリア教育実施校 小学校11校 中学校9校(保育園・幼稚園での職場体験学習を含む)	○28校で実施	○飯田OIDE長姫高校商業科との連携により、3年生80名が7地区において地域の課題解決に向けた取組を実施。述べ参加人数1,600人 ○飯田下伊那の高校生を対象とした高校生講座「カンボジアスタディ・ツアー」を実施し、15名の高校生が地域学習と現地学習を通じて、自身の生き方と地域の将来について考える機会を提供。述べ参加人数112人	100%	○	

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

☆基本目標4 仕事と家庭生活の両立の推進 ～子育てと仕事の両立を支えるまちづくり～

①親の働きやすい環境づくりの推進

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	区分	29年度	31年度 (見込み)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【子ども・子育て】 病児・病後児保育事業	近隣に親族がいない家庭が増加しており、保護者が急にまたは何日も休暇を取得できないとき、病気の子どもを個別に保育するため、医療機関と連携して病児・病後児保育を実施します。	717人年	量的指標	831	546人	○社会医療法人健和会へ委託し、月曜日から金曜日までの平日の午前8時から午後4時(12/1から午前8時から午後8時までに変更)まで子どもの受け入れを行った。年間240日開所し、延べ831人(うち下伊那町村123人)が利用した。 平成22年度の開所以来、地域に浸透されてきたことから、年間700～800人の利用受け入れを想定。	170%	○	子育て支援課
【子ども・子育て】 子育て短期支援事業 (ショートステイ)	保護者の疾病その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合や、経済的な理由により緊急一時的に児童を保護することが必要な場合等に、児童養護施設等で一定期間、養育・保護を行います。	89人年	量的指標	101	126人	○市内の乳児院、児童養護施設の3カ所において継続実施。 ○養育をすることが困難になり、一時的に保護を必要とする児童に対し実施。緊急のため当日お預かりするケースがあり施設職員体制に苦慮した。 延べ日数190日(2歳児未満43日、2歳児以上147日) 利用者99名(2歳児未満23名、2歳児以上76名)	—	○	子育て支援課
【子ども・子育て】 時間外保育事業	通常保育の保育時間は午前8時から午後4時です。一般的な長時間保育実施園では午前7時30分から午後7時まで実施しており、時間を延長した保育も実施しています。今後も保護者の勤務の都合などによるニーズに応じていきます。	553人年	量的指標	1,219	673人	○公立保育園10園、私立保育園17園、認定こども園6園、事業所内保育所1園で延長保育を実施。園により延長時間の違いはあるが、標準時間(11時間保育)、短時間(8時間保育)ともに朝・夕長保を実施。	100%	○	
【子ども・子育て】 子育て短期支援事業 (トワイライトステイ)	仕事等の理由により、夜間に保護者がいない場合、児童養護施設等で児童の養育・保護を行います。	0人	量的指標	2	1人	○市内の乳児院、児童養護施設において継続実施。 ○仕事の都合により夜間に保護者がいないため児童の養育を行った。 延べ日数1日 利用者2名	—	○	
【子ども・子育て】 教育・保育事業	基本目標1に記載					基本目標1に記載			子育て支援課
【子ども・子育て】 家庭的保育等事業 (地域型保育事業)	基本目標1に記載					基本目標1に記載			
【子ども・子育て】 放課後子どもプラン 推進事業 (児童クラブ設置運営事業)	基本目標3に記載					基本目標3に記載			学校教育課
【子ども・子育て】 【次世代育成】 ファミリーサポートセンター事業	基本目標1に記載					基本目標1に記載			子育て支援課

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【次世代育成】 通常保育と保育所・認定子ども園の施設整備事業	老朽化及び耐震改修等が必要な施設の改修を行います。	○施設改修・改築施設6か所	○継続実施	○各保育園・認定こども園の施設改修の要望を確認し、それぞれの園の状況を確認したうえで年間整備計画を検討し、改修および修繕を行った。依然施設の老朽化、改修要望があるため優先順位を検討し、施設の整備を計画的に実施した。	—	○	子育て支援課
【次世代育成】 休日保育事業	現在実施している休日保育の利用児童は、概ね年間20人程度であることから、現在の事業を維持しつつ、休日保育事業を広く周知する広報活動を積極的に進めます。	○実利用者数22人(延べ利用者数93人)	○実施園1か所	○休日保育を実施している飯田中央保育園の平成29年度の実績は、実利用者数15人、延べ利用者数97人 引き続き事業の継続を維持しつつ、休日保育事業について広く周知できるよう努めた。	100%	○	子育て支援課
【次世代育成】 ひとり親自立支援事業	ひとり親家庭は増加傾向にあり、子育ての面でも困難が伴うため、就業支援や手当の支給により自立に向けた支援を実施していきます。 ①児童扶養手当の支給	○H26.3末現在の受給者数 母子家庭800世帯、父子家庭71世帯、その他2世帯	○登録者1,000人	○平成30年3月末現在の受給者数 母子家庭799世帯、父子家庭59世帯、その他0世帯 ○支給申請には全件対応している。	85%	—	子育て支援課
	②母子家庭自立支援給付金事業	○なし	○継続実施	○継続実施 ○支給件数 0件 ○申請に対しては全件対応している。	—	○	
	③高等技能訓練促進事業	○支給人数3人	○継続実施	○継続実施 ○支給件数 2件(継続2件、新規0件) ○申請に対しては全件対応している。	—	○	
	④母子寡婦福祉資金の貸付	○8件 1,388,000円	○継続実施	○継続実施 ○貸付件数 13件 33,677,000円 ○申請に対しては全件対応している。	—	○	

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

②仕事と家庭生活の調和を図る「ワーク・ライフ・バランス」事業の推進

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【次世代育成】  「ワーク・ライフ・バランス」推進事業	子育て世代の生活を見直し、仕事と家庭生活の調和を図る「ワーク・ライフ・バランス」を普及するため、事業所や労働者への啓発活動に努めます。また、従業員が100人に満たない事業所にも特定事業主行動計画の策定を促進し、事業所が育児支援に取り組めるよう、事業所への支援活動に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワーク・ライフ・バランスの重要性は、事業者側としても認識。一般事業主行動計画は100人以下の事業所は、任意提出のため提出のない事業所が多い</li> <li>○「市民つどい」を開催、実践モデル事業所取組報告を実施。「市民つどい」参加者 450名</li> <li>○南信労政事務所と連携して企業訪問4社 市単独訪問7社実施</li> <li>○広報、ホームページ、オプトーク、いいだエフエム等の媒体を利用し啓発実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワーク・ライフ・バランスを推進するため、事業者向けに、改正育児・介護休業法、次世代育成支援対策推進法の広報啓発を進める。</li> <li>○経営者・人事担当者などを対象としたセミナー等を開催する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「市民のつどい」を開催、表彰受賞者の取組報告を実施した。「市民のつどい」への参加者 457名</li> <li>○ワーク・ライフ・バランスを推進するため広報いいだ、ホームページ、いいだエフエム、地域の新聞・情報誌等の媒体を利用し啓発実施した。</li> <li>○経営者・総務担当者及び一般市民を対象としてワーク・ライフ・バランスセミナーを2回開催した。両セミナーとも中小企業診断士を講師に招き「社員のしあわせと会社の発展を両立させる取り組み、仕事の充実について」とのテーマを設定し意識改革、すぐ始める具体的な行動、生産性を高めて充実した家庭生活等の送り方について学んだ。セミナーではグループワークを取り入れることで自身の生活について再確認することができた。また育児介護休業法にも触れ概要についても周知することができた。一般向けでは子育て世帯に多く参加してもらうため託児を行った。参加者延べ人数82名</li> <li>第1回 経営者、総務担当者向け「職場活性化とは」</li> <li>第2回 一般向け「生活の充実を目指した仕事の充実」</li> </ul>	—	○	男女共同参画課 産業振興課 子育て支援課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女共同参画推進事業者等表彰制度は、ワーク・ライフ・バランスの取組に限らず、広く職域拡大や労働環境の整備について取組を進めている事業所を表彰。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の中で、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる事業者を1社でも多く表彰するように、取組を進める。</li> <li>○毎年1事業所以上を表彰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内でワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる事業所を1者、女性の起業支援をしている団体を1者表彰。</li> </ul>	—	○	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○101人以上の事業所:34事業所、100人以下の事業所:24事業所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画策定についての周知・啓発の実施</li> </ul>	平成29年度末、従業員101人以上の26事業所、100人以下の27事業所で計画書提出済み。	—	○	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○従業員が仕事と子育ての両立ができるような「働きやすい職場環境づくり」に取り組む事業所:県が登録を推進する「社員の子育て応援宣言」登録企業9社</li> <li>○実践モデル事業所1社を依頼し、講師を派遣。事業所内で実践活動を行い、市民のつどいのなかで、取り組んでいる中間発表を実施し、市民周知を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「社員の子育て応援宣言」についての周知・啓発の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○従業員が仕事と家庭を両立できるような働きやすい職場環境づくりの取り組みを宣言する県の制度で、飯田市内では51社が登録している。新規登録に関しては企業訪問時において啓発のための資料を配布し概要を案内した。</li> </ul>	—	○	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育委員会と協働し、お父さん応援講座を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○労働者を対象としたワーク・ライフ・バランス推進講座を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワーク・ライフ・バランスセミナーにおいて生活の充実を目指した仕事の充実についてテーマを設定し開催した。保育園等を通じて周知を行ったこともあり、託児を利用した家族の参加もあった。(3課合同)</li> </ul>	—	○	

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

☆基本目標5 地域のみんで支え合う子育て・子育ての推進 ～子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり～

①地域のみんで支え合う子育て・子育ての推進

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【次世代育成】 親・市民・地域・事業者等が自ら子育て・子育てを応援しようとする(むとす)事業	地域ぐるみで親・市民・事業者等が、自ら子育て・子育てを応援しようとする(むとす)活動を支援します。そのひとつとして、地域の様々な主体による、子どもの居場所づくりなどを応援します。	○市民公募により構成する「みんなで子育て応援サポーター」により、地域子育て応援情報冊子「みんなで子育てナビ」を編集・発行	○「みんなで子育てナビ」発行継続 ○モデル事業の実施	○みんなで子育て応援サポーター会議により企画・取材・編集作業を実施し、子育て応援情報誌「みんなで子育てナビ」を継続発行した。掲載内容も父親向け情報誌「いいだパパナビ」に合わせて制度手当等の情報を追記した。 ○いいだパパナビも継続発行し、みんなで子育てナビ同様に母子健康手帳交付時に配布することができた。 ○子育てネットホームページのリニューアルに向けてサポーターとの意見	—	○	子育て支援課 生涯学習・スポーツ課 公民館
		○不登校支援について「NPO法人 フリーウイング」による事業を継続実施。	○不登校支援について「NPO法人 フリーウイング」による事業を継続実施。	○教育支援指導主事を配置、関係機関と連携し不登校対策を実施。 ○NPO法人フリーウイングによる継続実施。	—	○	学校教育課
【次世代育成】 家庭教育支援事業及び家庭教育啓発推進事業	学校・PTA・育成会等の関係機関と連携し、子どもの教育の課題を地域ぐるみで解決するため、家庭教育に関する学級・講座・講演会等を実施します。また、子どもの養育環境の向上のため、親の意識啓発を促し、子どもの生活習慣の定着を図るキャンペーン活動「わが家の結いタイム」を、学校・家庭・地域をあげて行います。	○家庭教育関連講座への延参加者数5,946人 ○基本的生活習慣が習得できている小学生の割合57.5%	○家庭教育関連講座への延参加者数6,000人 ○基本的生活習慣が習得できている小学生の割合70%	○家庭教育関連講座への参加者数5,740人	—	○	公民館
		○わが家の結いタイムポスターコンクール実施 応募数81点 ○三行詩コンクール実施 応募数2,468点 ○PTA結いタイム担当者研修会開催 2回 ○みんなで子育てパワーアップ講座実施 全6回参加数310人	○継続実施	○わが家の結いタイム継続実施 ポスターコンクール実施 応募数125点 三行詩コンクール実施 応募数2,732点 PTA結いタイム担当者研修会開催 1回	—	○	生涯学習・スポーツ課 公民館
【次世代育成】 地域の子育て応援情報発信事業	地域の事業者や子育て中の親などと協働し、子育て応援情報を収集し、ホームページや地域情報誌などを使って情報発信します。	○「南信州みんなで子育てマップ」システム維持継続	○「南信州みんなで子育てマップ」システム維持継続	○継続実施 都度更新はされているが、更新方法について検討を行った。	—	○	子育て支援課
		○専門サイト「子育てネット」による情報発信 62回	○専門サイト「子育てネット」等による情報発信の継続	○継続実施 ○子育てネットの改良及びスマートフォン対応に向けた検討を開始。子育て応援サポーターや閲覧者からの意見を基に検討会議を実施した。	—	○	
【次世代育成】 ながの子育て家庭優待パスポート事業	県全体で取り組む「ながの子育て家庭優待パスポート事業」に参加し、子育て家庭の生活を地域全体で支える機運を高めます。	○協賛事業者:198店 ○カード交付枚数:19,688枚	○協賛店舗数200店以上	○飯田市ホームページに協賛店の申込要領や様式を掲載し募集が容易にできる環境を整えた。 ○子育て支援課と連携し協賛店舗情報の更新及び飯田市版リーフレットの作成を行った。 ○平成29年度末(平成30年2月現在)協賛店舗数:234店舗	117%	○	商業・市街地活性化課 子育て支援課
【次世代育成】 地域振興住宅整備事業	民間借家が少ない地域へ住宅を供給し、地域との協働で子育て世代等に入居してもらい、地域の維持、活性化を図ります。	○中山間地域への住宅供給	○新築住宅 総計55棟	○中山間地域へ1棟の地域振興住宅を新築した。(年度計画5棟) 平成29年度末42棟	76%	○	ふるさと定住支援課
【次世代育成】 やさしいまちづくり事業	子ども連れの親子の外出を支援するため、ベビーベッド付きの多目的トイレやベビーカーでの利用がしやすいよう歩道の整備・施設の段差のスロープ化などの整備を進めます。	○H25中央公園(吾妻)園路整備 L≒60m ○中心市街地の歩道整備(段差解消等) L≒520m	○継続実施	○中央公園再整備事業について、中心市街地振興プロジェクト会議により整備方針の検討を進めた。 ○中心市街地の歩道整備(段差解消等) L=479.0m	—	○	土木課

平成29年度子育て応援プラン実施状況一覧

②地域の連携による子育て応援の推進

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
【次世代育成】 地育力向上連携システム推進事業	基本目標3に記載			基本目標3に記載			生涯学習・スポーツ課 公民館 学校教育課
【子ども子育て】 【次世代育成】 放課後子どもプラン推進事業	基本目標3に記載			基本目標3に記載			学校教育課

③安心安全のまちづくりの推進

事業名	事業内容	現状 (平成25年度)	目標値 (平成31年度)	実施状況	進捗率	評価	担当課等
青少年育成センター運営事業	地育力による人づくり、青少年の健全育成、青少年保護活動等を行うため青少年育成センターを運営します。また飯田市の青少年健全育成基本方針に基づき、青少年の健全育成に関する活動を担うため、センターに青少年育成推進委員を置きます。青少年育成推進委員はセンター事務局と共に、地域団体、関係機関等との連携による啓発・巡視などの青少年健全育成活動を行い、青少年が健全に育つ環境整備に努めます。	○各地区、団体等との巡回巡視活動回数 3回 ○情報共有のための全体会開催回数2回 ○有害な地域環境実態調査箇所55箇所 ○各地区、団体等との情報交換会実施回数2回 ○推進委員のための研修会実施回数2回 ○青少年健全育成月間(わが家の結いタイム推進月間)情報発信1回	○継続実施	○各地区、団体等との巡回巡視活動回数 4回 ○情報共有のための全体会開催回数 2回 ○有害な地域環境実態調査箇所 23箇所 ○各地区、団体等との情報交換会実施数 3回(全体会及び有害な地域環境実態調査と同一開催) ○青少年育成推進委員のための研修会実施回数 3回 ○青少年健全育成月間(わが家の結いタイム推進月間)情報発信 2回	—	○	生涯学習・スポーツ課
【次世代育成】 おめでとう赤ちゃん訪問活動事業	生まれてきた子どもを地域で尊び、地域で子育てを応援していくため、生後4ヶ月ころに訪問します。必要に応じて、育児に不安のある家庭の発見と支援も行います。	○更生保護女性会・市社会福祉協議会の用意したプレゼント等を持参して、民生児童委員さんが訪問	○継続実施	○継続実施 ○民生児童委員・主任児童委員により、4か月児のいる家庭に対し家庭訪問を希望する家庭に対して家庭訪問を実施。 家庭訪問数741件	—	○	子育て支援課
地域での子どもの見守り活動推進事業	地域では、まちづくり委員会生活安全委員会、飯田地区防犯協会連合会などが中心となって、犯罪や事故のない安全・安心なまちづくりを目標に、市、警察、福祉・教育関係機関やPTA、安心子どもの家、子ども見守り隊などの各種防犯ボランティアが連携し、防犯活動に取り組んでいます。今後、さらに、子どもたちが安心して地域で過ごせる環境づくりに向けて、子どもたちの見守りボランティア活動を地域へ拡大していくための普及啓発について、関係機関が協働して取り組んでいきます。そして、警察・学校等の安心メールなどの活用により、地域での不審者情報等を共有し、犯罪等が起きないよう、地域全体で見守り活動を行っていきます。	○飯田警察署生活安全課と連絡調整を取りながら青バト講習を実施している。 ○ホワイトエンジェルズは現在33名で活動(見守りパトロール)実施している。 ○飯田市安全大会開催 1回	○声掛け事案の発生や他県では授業時のみならず学校のイベント時へ不審者の侵入事案が後を絶たないため、継続実施する	○各まちづくり委員会等が、登下校の見守りや青バトによる警戒活動を実施。夕方から夜間にかけて、青バトによる警戒・広報活動を推進。 ○学校・地域・飯田警察署・飯田地区防犯協会と協力し、市内の小・中学校の児童や職員に向け不審者対応訓練・講習を実施。 ○情報発信ツールとして、安全・安心メールや長野県警のライボ君メールの登録促進啓発を実施。 ○人身に危害が及ぶような不審者情報を認知した場合、警察と協力し付近を警戒するなど被害防止に努めた。 ○日頃から飯田警察署等との連携を強化し、危険が危惧される事案の情報共有に努めた。 ○(1)青少年の健全育成について考える機会を市民に提供し青少年の健全育成を推進(2)市民生活の安全を脅かす犯罪・暴力団排除・交通安全等について考える機会を市民に提供し犯罪や交通事故の抑止と暴力団排除に向けた運動を展開(3)地震や風水害等の災害に強いまちづくりについて考える機会を市民に提供し災害に強いまちづくりを推進するため第11回飯田市安全大会を実施(約400名の参加)	100%	○	危機管理室 生涯学習・スポーツ課
		○小中学校の安心メール登録 10,449世帯	○継続実施	○平成29年度に新システムを導入 ○小中学校の安心メール登録 12,037世帯	—	○	学校教育課
		○保育所・幼稚園の安心メール登録2,606世帯(H26.3.31現在)	○継続実施	市内の全公立保育園及び希望している私立保育園・認定こども園、計30園で利用。平成30年3月末 2,905世帯が登録。	—	○	子育て支援課

⑤教育・保育の充実

【2号認定(保育ニーズ)】 区域設定:中学校区

事業名	事業内容	担当課
【子ども・子育て】 教育・保育事業	幼児期における質の高い学校教育・保育の総合的な提供や保育の量的確保を行います。これらの需要と、地域・施設とのバランスを踏まえる中で検討を行います。	子育て支援課

区分	単位	数値区分	飯田東中学校区					飯田西中学校区					
			H29実績	H28	H29	H30	H31	H29実績	H28	H29	H30	H31	
2号認定	保育ニーズ	人	量の実績	384	116	124	113	116	166	175	160	156	152
			確保方策	380	276	276	276	276	179	191	191	191	191
			差引	△ 4	160	152	163	160	13	16	31	35	39
	人	人	量の実績	524	448	417	417	411	482	394	400	406	404
			確保方策	598	650	650	650	650	457	533	533	533	533
			差引	74	202	233	233	239	△ 25	139	133	127	129
	人	人	量の実績	116	69	70	72	71	51	106	111	111	104
			確保方策	151	81	81	81	81	51	142	142	142	142
			差引	35	12	11	9	10	0	36	31	31	38
	人	人	量の実績	387	389	374	363	349	258	257	265	262	267
			確保方策	437	435	435	435	435	273	309	309	309	309
			差引	50	46	61	72	86	15	52	44	47	42
	人	人	量の実績	12	22	19	18	21	2,380	1,975	1,940	1,917	1,895
			確保方策	49	32	32	32	32	2,575	2,649	2,649	2,649	2,649
			差引	37	10	13	14	11	195	674	709	732	754

【1号・2号(教育ニーズ)・3号認定(保育ニーズ)】 区域設定:行政区(市全域)

区分	単位	数値区分	H29実績	H28	H29	H30	H31	
			3号認定	0歳児	人	量の実績	212	117
確保方策	193	160	160			160	160	
差引	△ 19	43	44			46	48	
	1・2歳児	人	量の実績	986	828	827	820	811
			確保方策	937	978	978	978	978
			差引	△ 49	150	151	158	167
教育ニーズ合計 1号+2号 [教育ニーズ]	人	人	量の実績	526	461	453	445	440
			確保方策	497	594	594	594	594
			差引	△ 29	133	141	149	154

事業名	事業内容	担当課
【子ども・子育て】 家庭的保育等事業 (地域型保育事業)	幼児期における質の高い学校教育・保育の総合的な提供や保育の量的確保のため、需要と、地域・施設とのバランスを踏まえる中で未満児を対象とする保育の拡大について検討します。 ①家庭的保育 5人以下の少人数で保育を行う事業 ②小規模保育 6人～19人までの保育を行う事業 ③事業所内保育 事業所内の施設で、従業員や地域の子どもと一緒に保育する事業 ④居宅訪問型保育 個別ケアが必要な場合など、保護者の自宅へ訪問しマンツーマンで保育する事業	子育て支援課



①放課後子どもプラン推進事業の拡充

区域設定：中学校区（竜峡・竜東は合算）

事業名	【子ども・子育て】放課後児童健全育成事業											担当課
事業内容	放課後に帰宅しても家族がいない小学生の安心安全な居場所対策として、児童館・児童センター・児童クラブを運営します。											学校教育課
区分	単位	数値区分	飯田東中学校区					飯田西中学校区				
			29実績	H28	H29	H30	H31	29実績	H28	H29	H30	H31
低学年 1～3年生	人	量の見込み	38	57	52	55	49	79	94	90	90	89
		確保方策	40	50	50	50	60	70	80	80	80	80
		差引	2	△ 7	△ 2	△ 5	11	△ 9	△ 14	△ 10	△ 10	△ 9
高学年 4～6年生	人	量の見込み	3	21	21	20	20	0	22	22	20	20
		確保方策	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
		差引	7	△ 11	△ 11	△ 10	△ 10	10	△ 12	△ 12	△ 10	△ 10
計	人	量の見込み	登録児童数 41	78	73	75	69	登録児童数 79	116	112	111	109
		確保方策	50	60	60	60	70	80	90	90	90	90
		差引	9	△ 18	△ 13	△ 15	1	1	△ 26	△ 22	△ 21	△ 19
区分	単位	数値区分	緑ヶ丘中学校区					旭ヶ丘中学校区				
			29実績	H28	H29	H30	H31	29実績	H28	H29	H30	H31
低学年 1～3年生	人	量の見込み	225	192	194	191	187	160	140	133	131	128
		確保方策	220	210	220	220	220	160	150	150	170	170
		差引	△ 5	18	26	29	33	0	10	17	39	42
高学年 4～6年生	人	量の見込み	18	33	33	32	33	16	34	34	33	32
		確保方策	20	10	20	20	20	20	20	20	30	30
		差引	2	△ 23	△ 13	△ 12	△ 13	4	△ 14	△ 14	△ 3	△ 2
計	人	量の見込み	登録児童数 243	226	227	224	220	登録児童数 176	174	167	164	160
		確保方策	240	220	240	240	240	180	170	170	200	200
		差引	△ 3	△ 6	13	16	20	4	△ 4	3	36	40
区分	単位	数値区分	竜峡中学校区					竜東中学校区				
			29実績	H28	H29	H30	H31	29実績	H28	H29	H30	H31
低学年 1～3年生	人	量の見込み	88	39	40	40	41	竜峡中学校区へ合算				
		確保方策	80	70	70	70	70					
		差引	△ 8	31	30	30	29					
高学年 4～6年生	人	量の見込み	36	7	7	7	7					
		確保方策	20	20	20	20	20					
		差引	△ 16	13	13	13	13					
計	人	量の見込み	登録児童数 124	47	47	47	48					
		確保方策	100	90	90	90	90					
		差引	△ 24	43	43	43	42					
区分	単位	数値区分	高陵中学校区					鼎中学校区				
			29実績	H28	H29	H30	H31	29実績	H28	H29	H30	H31
低学年 1～3年生	人	量の見込み	140	103	102	104	104	104	118	114	112	112
		確保方策	130	130	130	130	130	100	100	100	100	100
		差引	△ 10	27	28	26	26	△ 4	△ 18	△ 14	△ 12	△ 12
高学年 4～6年生	人	量の見込み	7	34	34	36	36	0	22	23	24	23
		確保方策	30	30	30	30	30	20	20	20	20	20
		差引	23	△ 4	△ 4	△ 6	△ 6	20	△ 2	△ 3	△ 4	△ 3
計	人	量の見込み	登録児童数 117	137	136	140	140	登録児童数 104	140	137	135	135
		確保方策	160	160	160	160	160	120	120	120	120	120
		差引	43	23	24	20	20	16	△ 20	△ 17	△ 15	△ 15
区分	単位	数値区分	遠山中学校区					全体				
			29実績	H28	H29	H30	H31	29実績	H28	H29	H30	H31
低学年 1～3年生	人	量の見込み	0	0	0	0	0	834	744	724	723	710
		確保方策						800	780	780	790	800
		差引	0	0	0	0	0	△ 34	36	56	67	90
高学年 4～6年生	人	量の見込み	0	0	0	0	0	80	174	175	173	170
		確保方策						130	130	150	170	170
		差引	0	0	0	0	0	50	△ 44	△ 25	△ 3	0
計	人	量の見込み	登録児童数 0	0	0	0	0	登録児童数 914	918	899	896	880
		確保方策	0	0	0	0	0	930	910	930	960	970
		差引	0	0	0	0	0	16	△ 8	31	64	90

子ども・子育て支援事業計画における量の見込み及び確保方策一覧

※量の見込み: 量の見込算出のためのワークシートにより計算した数値、確保方策: 市町子ども・子育て支援事業計画に記載する予定の数値等

区分	単位	数値区分	飯田東中学校区					飯田西中学校区					緑ヶ丘中学校区					旭ヶ丘中学校区					竜峡中学校区					No		
			量の見込み・確保方策(各年度)					量の見込み・確保方策(各年度)					量の見込み・確保方策(各年度)					量の見込み・確保方策(各年度)					量の見込み・確保方策(各年度)							
			H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31			
教育・保育	2号認定	保育ニーズ	人	量の見込み	129	116	124	113	116	177	175	160	156	152	459	448	417	417	411	403	394	400	406	404	67	69	70	72	71	1
				確保方策	276	276	276	276	276	191	191	191	191	191	650	650	650	650	650	533	533	533	533	533	81	81	81	81	81	
				差引	147	160	152	163	160	14	16	31	35	39	191	202	233	233	239	130	139	133	127	129	14	12	11	9	10	
	3号認定	0歳	人	量の見込み	18	17	17	17	16	37	36	36	34	33	94	94	93	91	90	86	85	84	84	83	9	9	9	9	9	2
				補正値	5	5	5	5	5	11	11	11	11	10	29	29	28	28	28	26	26	26	26	25	3	3	3	3	3	
				確保方策	54	54	54	54	54	10	10	10	10	10	16	16	16	16	16	28	28	28	28	28	0	0	0	0	0	
		1・2歳	人	量の見込み	61	64	61	60	59	112	108	115	113	112	243	239	246	244	241	258	256	247	245	243	35	34	33	33	33	3
				補正値	44	46	44	43	43	78	75	80	79	78	187	184	190	188	186	201	200	192	191	189	26	25	24	24	24	
				確保方策	270	270	270	270	270	67	67	67	67	67	219	219	219	219	219	175	175	175	175	175	8	8	8	8	8	
	教育ニーズ合計 1号+2号[教育ニーズ]	人	量の見込み	48	43	46	42	43	37	37	34	33	32	121	118	110	110	109	76	74	75	76	76	4	4	5	5	5	4	
			確保方策	345	345	345	345	345	0	0	0	0	0	158	158	158	158	158	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			差引	297	302	299	303	302	△ 37	△ 37	△ 34	△ 33	△ 32	37	40	48	48	49	△ 76	△ 74	△ 75	△ 76	△ 76	△ 4	△ 4	△ 5	△ 5	△ 5		
	放課後 児童健全 育成事業	低学年 1～3年生	人	量の見込み	57	57	52	55	49	94	94	90	90	89	187	192	194	191	187	146	140	133	131	128	41	39	40	40	41	5
確保方策				40	50	50	50	60	80	80	80	80	80	210	210	220	220	220	150	150	150	170	170	70	70	70	70	70		
差引				△ 17	△ 7	△ 2	△ 5	11	△ 14	△ 14	△ 10	△ 10	△ 9	23	18	26	29	33	4	10	17	39	42	29	31	30	30	29		
高学年 4～6年生		人	量の見込み	21	21	21	20	20	23	22	22	20	20	35	33	33	32	33	35	34	34	33	32	7	7	7	7	7	6	
			確保方策	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	30	30	20	20	20	20		
			差引	△ 11	△ 11	△ 11	△ 10	△ 10	△ 13	△ 12	△ 12	△ 10	△ 10	△ 25	△ 23	△ 13	△ 12	△ 13	△ 15	△ 14	△ 14	△ 3	△ 2	13	13	13	13	13		
計		人	量の見込み	78	78	73	75	69	117	116	112	111	109	222	226	227	224	220	181	174	167	164	160	48	47	47	47	48	7	
			確保方策	50	60	60	60	70	90	90	90	90	90	220	220	240	240	240	170	170	170	200	200	90	90	90	90	90		
			差引	△ 28	△ 18	△ 13	△ 15	1	△ 27	△ 26	△ 22	△ 21	△ 19	△ 2	△ 6	13	16	20	△ 11	△ 4	3	36	40	42	43	43	43	42		

区分	単位	数値区分	竜東中学校区					高陵中学校区					鼎中学校区					遠山中学校区					全体					補正値について	区域設定	確保方策の考え方	No
			量の見込み・確保方策(各年度)					量の見込み・確保方策(各年度)					量の見込み・確保方策(各年度)					量の見込み・確保方策(各年度)					量の見込み・確保方策(各年度)								
			H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31				
教育・保育	2号認定	保育ニーズ	人	量の見込み	98	106	111	111	104	390	389	374	363	349	256	257	265	262	267	22	22	19	18	21	2,001	1,975	1,940	1,917	1,895	1	
				確保方策	142	142	142	142	142	435	435	435	435	435	309	309	309	309	309	32	32	32	32	32	2,649	2,649	2,649	2,649	2,649		
				差引	44	36	31	31	38	45	46	61	72	86	53	52	44	47	42	10	10	13	14	11	648	674	709	732	754		
	3号認定	0歳	人	量の見込み	13	12	12	12	12	89	88	88	86	84	38	38	38	37	36	2	2	2	2	2	386	382	379	373	365	2	
				補正値	4	4	4	4	4	27	27	27	26	26	12	12	12	11	11	1	1	1	1	1	118	117	116	114	112		
				確保方策	4	4	4	4	4	30	30	30	30	30	16	16	16	16	16	2	2	2	2	2	160	160	160	160	160		
		1・2歳	人	量の見込み	54	51	48	46	46	190	181	189	187	185	156	161	149	149	148	12	14	12	12	12	1,121	1,107	1,100	1,090	1,078	3	
				補正値	32	30	28	28	28	177	168	176	175	173	96	99	92	92	91	0	0	0	0	0	841	828	827	820	811		
				確保方策	35	35	35	35	35	122	122	122	122	122	71	71	71	71	71	11	11	11	11	11	978	978	978	978	978		
	教育ニーズ合計 1号+2号[教育ニーズ]	人	量の見込み	10	11	12	12	11	105	104	101	97	94	68	68	71	70	71	0	0	0	0	0	470	461	453	445	440	4		
			確保方策	0	0	0	0	0	91	91	91	91	91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	594	594	594	594	594			
			差引	△ 10	△ 11	△ 12	△ 12	△ 11	△ 14	△ 13	△ 10	△ 6	△ 3	△ 68	△ 68	△ 71	△ 70	△ 71	0	0	0	0	0	124	133	141	149	154			
	放課後 児童健全 育成事業	低学年 1～3年生	人	量の見込み	0	0	0	0	0	104	103	102	104	104	121	118	114	112	112	0	0	0	0	0	749	744	724	723	710	5	
確保方策									130	130	130	130	130	100	100	100	100	100						770	780	780	790	800			
差引				0	0	0	0	0	26	27	28	26	26	△ 21	△ 18	△ 14	△ 12	△ 12	0	0	0	0	0	21	36	56	67	90			
高学年 4～6年生		人	量の見込み	0	0	0	0	0	33	34	34	36	36	22	22	23	24	23	0	0	0	0	0	177	174	175	173	170	6		
			確保方策						30	30	30	30	30	20	20	20	20	20						130	130	150	170	170			
			差引	0	0	0	0	0	△ 3	△ 4	△ 4	△ 6	△ 6	△ 2	△ 2	△ 3	△ 4	△ 3	0	0	0	0	0	△ 47	△ 44	△ 25	△ 3	0			
計	人	量の見込み	0	0	0	0	0	137	137	136	140	140	143	140	137	135	135	0	0	0	0	0	926	918	899	896	880	7			
		確保方策	0	0	0	0	0	160	160	160	160	160	120	120	120	120	120	0	0	0	0	0	900	910	930	960	970				
		差引	0	0	0	0	0	23	23	24	20	20	△ 23	△ 20	△ 17	△ 15	△ 15	0	0	0	0	0	△ 26	△ 8	31	64	90				